

平成30年度

学 校 要 覧



沖繩 開邦中学校 県立 開邦高等学校

〒901-1105 沖縄県島尻郡南風原町字新川646番地
電 話 (098) 889 - 1715
F A X (098) 889 - 1709

青 藍 寮

〒901-1105 沖縄県島尻郡南風原町字新川678番地
電 話 (098) 889 - 2947

目 次

I	学校概要	1
1	学校名, 位置および設置学級数	1
II	校訓	1
III	教育目標	1
1	教育目標	1
2	教育方針	1
3	目指す生徒像	1
4	学校経営目標	2
5	学校経営目標に対する取り組み課題	2
6	平成30年度努力目標	2
IV	校章及び校歌	4
V	学校施設の概要	5
1	教室配置図	5
2	図書館	6

《開邦中学校》

I	教育活動の目標	9
1	本校の中高一貫教育の理念	9
2	中高一貫教育の流れ	9
3	各学年の努力目標	9
4	各教科の指導目標	10
II	学校沿革概要	11
1	本校の沿革・概要	11
III	教育課程	12
1	各教科の年間授業時数	12
2	教育内容について	12
3	校時表	12
IV	HR担任と在籍数, 職員一覧	13
1	HR担任と在籍数	13
2	職員一覧	13
3	教科担任一覧	13
V	生徒の実態	14
1	出身中学校別, 学年別生徒数	14
2	住居区分別生徒数	15
3	通学方法別生徒数(登校時)	15
4	通学方法別生徒数(下校時)	15
5	帰宅時間別生徒数	15
6	通学所要時間別生徒数(登校時)	15
7	通学所要時間別生徒数(下校時)	15
8	通学距離別生徒数	15
VI	平成30年度使用教科書及び副教材	16
VII	主な学校行事	18

《開邦高等学校》

I	教育活動の目標	19
1	各学科の指導目標	19
2	各教科の指導目標	19

	3 各部の努力目標	20
	4 各学年の努力目標	23
II	学校沿革概要	25
	1 本校の沿革・概要	25
	2 歴代校長・PTA会長一覧	31
III	校時表	32
IV	HR担任と在籍数	32
V	職員一覧表	33
VI	校務分掌と分掌組織図	34
	1 校務分掌組織図	34
	2 校務分掌	35
	3 各種委員会	39
VII	部活動	41
VIII	主な学校行事	42
IX	教育課程表	43
X	平成30年度使用教科書及び副教材	52
	1 教科書	52
	2 準教科書	53
	3 副読本	54
X I	生徒の実態	57
	1 出身中学校別, 学年別, 科別生徒数	57
	2 住居区分別生徒数	58
	3 通学方法別生徒数(登校時)	58
	4 通学方法別生徒数(下校時)	58
	5 帰宅時間別生徒数	58
	6 通学所要時間別生徒数(登校時)	58
	7 通学所要時間別生徒数(下校時)	58
	8 通学距離別生徒数	58
X II	進路状況	59
	1 平成30年度 進路希望調査	59
	2 平成30年度 入試合格者数	59
	3 現役合格者数推移(5カ年間)	59
	4 平成30年度入試 合格者数一覧	60
X III	期別・科(コース)別・男女別卒業生数	61
XIV	学校安全・保健計画	62
	1 安全計画	62
	2 保健計画	64
X V	防災計画および避難経路	66
	1 防火(災)組織図	66
	2 火気取締責任者	67
	3 教室配置及び避難経路	68
XVI	寄宿舎	70

《年間行事予定表》

I 学校概要

1 学校名，位置および設置学級数

- (1) 校名 沖縄県立 開邦中学校・高等学校
- (2) 位置 沖縄県島尻郡南風原町字新川646番地
- (3) 中学校
 - ① 設置形態 併設型
 - ② 設置学級数 1学年1学級 40人
 - ③ 通学区域 県全域 (学生寮はなし)
- (4) 高等学校
 - ① 設置学科 全日制課程:学術探究科，学術文科，学術理科，芸術科(音楽コース・美術コース)
 - ② 定員
 - 1学年 学術探究科160名(4学級)
芸術科40名{1学級(音楽コース20名・美術コース20名)}
 - 2学年 学術文科・学術理科160名(4学級)
芸術科40名{1学級(音楽コース20名・美術コース20名)}
 - 3学年 学術文科・学術理科160名(4学級)
芸術科40名{1学級(音楽コース20名・美術コース20名)}

II 校訓

「開邦雄飛」

「邦を開き世界に羽ばたく人材を育成する」理念のもと，生徒達が県内のみならず国内外で活躍することを願って制定した。

III 教育目標

1 教育目標

校訓「開邦雄飛」すなわち，邦を開き世界に羽ばたく人材育成の理念のもと，急激な社会の変化に主体的に対応し，創造的に生き抜いていくために必要な「確かな学力」「豊かな心」「創造性」及び「健やかな体」を育成し，グローバル社会の中で21世紀を逞しく切り拓くリーダーを育てる。

また，社会で果たさなければならない使命感を涵養し，個性に応じて将来の進路選択ができる能力を育成するとともに，郷土・芸術を愛し，文化の継承・発展に努め，平和で安らぎと活力ある社会の形成者を育成する。

2 目指す生徒像

- (1) 沖縄の自主発展と世界の芸術・科学技術の発展に貢献できる創造性豊かな生徒。
- (2) 国際社会・グローバル社会に対応する教養を身に付けた国際性豊かな生徒。
- (3) 郷土を愛し，多様な価値観，芸術を重んじる感性豊かな生徒。
- (4) 問題意識を持ち，解決に向けた本質的な学びに向かう生徒。
- (5) 規範意識の高い道德性を身につけた生徒。

3 目指す教職員像

- (1) 指導の方向性を一致させ，生徒の確かな学力の向上，自律的な生活態度の育成，希望進路を実

現させるために協働体制をとることができる教職員。

(2) お互いに支え合い、学び合い、高め合い、成長する教職員。

4 学校経営目標

- (1) 関係法令等を遵守し、全職員の共通理解と協働体制により、教育目標の達成および学校課題の解決・改善に努める。
- (2) 広報活動の工夫・改善により、高い志と高い学力を備え、本校を第一志望校とする生徒増に努める。
- (3) 絶えず研究と修養を積み、質の高い授業を実践することで、確かな学力の向上と自ら学ぶ生徒を育成し、芸術・学術の本質を探究する姿勢の涵養に努める。
- (4) 主体的・対話的で深い学びを実践し、思考力・判断力・表現力の育成に努める。
- (5) 組織的・系統的な進路指導・キャリア教育体制の充実及び大学入試改革の研究に努め、開邦スタンダード(国公立大学現役合格率 70%以上、難関国立大学合格者 40 名以上、国公立医学科合格者 10 名以上)の実現に努める。
- (6) 「凡事徹底」を推進し、「豊かな心」をもった規範意識の高い生徒の育成に努める。
- (7) 生徒の健康づくり、体力向上、安全管理、環境美化に努める。
- (8) 法令等の根拠に基づいた学校予算の効果的な執行に努めると共に適正・確実な文書事務を遂行する。

5 学校経営目標に対する取り組み課題

- (1) 教職員一同ベクトルを一致させた指導に努める。
- (2) 本校を第一志望校とする生徒増に努める。
- (3) 質の高い授業の創造と教科マネジメントの充実に努める。
- (4) 各部・各教科・各学年の連携を密にし、現役での生徒の進路希望の実現に努める。
- (5) 当たり前のことが当たり前でできる自律した生徒の育成に努める。
- (6) 自他の生命を尊重し、心の健康づくりを推進する。
- (7) 校舎全面改築に向けて、関係部署との連絡・調整業務を円滑に実施する。

6 平成 30 年度努力目標

学校経営育目標の達成及び生徒の自己実現のために、本年度は次の事項について努力する。

- (1) 本校を第一志望校とする生徒増の強化
 - ① 中高 6 年間を見据えた教育計画・内容の見える化を図る。
 - ② 学校説明会の改善充実に努める。
 - ③ 中学校説明会や中学校訪問等を実施し、本校の情報を提供すると共に PR に努める。
 - ④ 生徒の活躍(学校行事、部活動、海外研修など)をタイムリーに学校ホームページへ掲載する。
 - ⑤ 各分掌が所管するホームページの内容をより自主的に更新・情報発信する。
 - ⑥ 小学生とその保護者を対象とした学校説明会をより一層充実させる。
- (2) 質の高い授業実践と教科マネジメントの実施
 - ① 主体的・対話的で深い学びを実践するとともに、教材、入試問題等を分析して授業改善に努める。
 - ② 電子黒板を活用した効果的な授業を研究、実践する。
 - ③ 適切な課題を与え、自学自習を促し、家庭学習時間の増加に努める。
 - ④ 学科の特性を生かし、研究大会やコンテスト等への応募、参加を奨励する。
 - ⑤ 大学入学共通テストを見据えた県教育委員会進学重点校事業と協同研究に努める。
 - ⑥ 各教科チームとして、担当学年の成績推移や実態を把握し、それを踏まえた授業改善・課題の工夫、日常の補習や長期休業日中の補習を実施する。

(3) キャリア教育及び進路指導の充実・強化

- ① 生徒の能力適性等の把握に努め、二者面談・三者面談等を活用し最後まであきらめさせない指導を継続する。
- ② e-ポートフォリオ導入の研究や各種データベースにより生徒の情報を共有し、全職員があらゆる場面で生徒を激励する。
- ③ 学年会を充実させ、高い目標に向かってチャレンジする気概を育成する。
- ④ 各種講座、小論文の充実、及び対外模試、英検等の受験を奨励し「なれる自分」を広げさせる。
- ⑤ 「職業人講話」「マナー講座」「インターンシップ」等を実施し幅広い視野から職業観を育成する。
- ⑥ 総合的な学習の時間を改善充実させ、自発的、探究的な姿勢を育成する。

(4) 生徒指導・教育相談の充実・強化

- ① 「凡事徹底」を推進し、「起きる時間・自学学習する時間・寝る時間の3点固定」等の基本的生活習慣の確立に努める。
- ② 携帯電話のルールと使用マナーの涵養とSNSの危険性を熟知させる。
- ③ 職員間の情報共有と緊密な連携を図り、教育相談の充実に努める。
- ④ 心の健康の維持・増進を図るため、教育相談機能の充実に努める。

(5) 特別活動の充実

- ① 心の居場所となり自尊感情が得られる学級活動・HR活動の充実に努める。
- ② 学校行事等を充実させ、自主性、協調性、連帯感の育成に努める。
- ③ 規律ある部活動を奨励し、学年を超えた友情や仲間意識を育む。
- ④ 県教育委員会のグローバル短期研修事業や留学事業の活用や海外研修旅行等を実施し、異文化理解を深め、グローバルに活躍する人材の育成に努める。

(6) 道徳教育の推進と心豊かな生徒の育成

- ① 道徳教育については、年間指導計画に基づき、道徳の時間、各教科、総合的な学習の時間及び特別活動等の学校教育活動全体を通して行うように努める。
- ② 学校いじめ防止基本方針に基づき、「いじめは如何なることがあっても許されない、犯罪行為である」という共通認識の下、いじめの未然防止・早期発見等に全職員で取り組む。
- ③ 自らの生き方・在り方を考えさせ、思いやりや感謝する心を育む。
- ④ 文学や芸術に親しみ、感受性を豊かにすると共に、共感力や創造力を育む。

(7) 安全教育の充実・強化

- ① 学校全体としての危機管理を徹底し、施設設備の安全点検、防災訓練等に努める。
- ② 登下校時における安全指導を徹底し、交通マナーの向上に努める。
- ③ 備品、薬品の管理を徹底すると共に、授業、学校行事、部活動中の事故防止に努める。

(8) 開かれた学校作りの推進

- ① 学校HPやメール等の活用により、広報活動・情報提供を充実させる。
- ② PTA活動を充実させ、学校評議員等の活用を図り、信頼関係を構築する。

(9) 校務処理の効率化

- ① 校内LANの有効活用に努め、文書や情報の共有化を図る。
- ② 文書情報のデジタル化を推進し、施設や備品の効果的な活用を図る。
- ③ 法令に基づいた予算執行及び適正迅速な文書処理に努める。

(10) 施設・設備の改善・充実

- ① 校舎全面改築に向け、関係部署との円滑な連絡調整に努める。
- ② 青藍寮の維持、管理に努める。
- ③ 教室内外の環境美化に努める。

IV 校章及び校歌

校章



花の蕾と正方形を組み合わせたデザイン。開くことの期待と希望，そして雄志に燃える若者の限らない可能性と，豊かな知性の力を結実させる内なる象徴。それが，蕾と正方形。(デザイン) 高良松 一

校歌

作詞 中村 準
作曲 富原 守哉

♩=96 力強く

しゅり じょう ひ が し の ベ ん が だ け
よ も の な が め も さ え わ た る ふ る
き み や こ を し の ぶ べ に す が
た ぞ い ふ う ど う ど う と か い
ほう ちゅう が く そ び え た つ

三

二

一

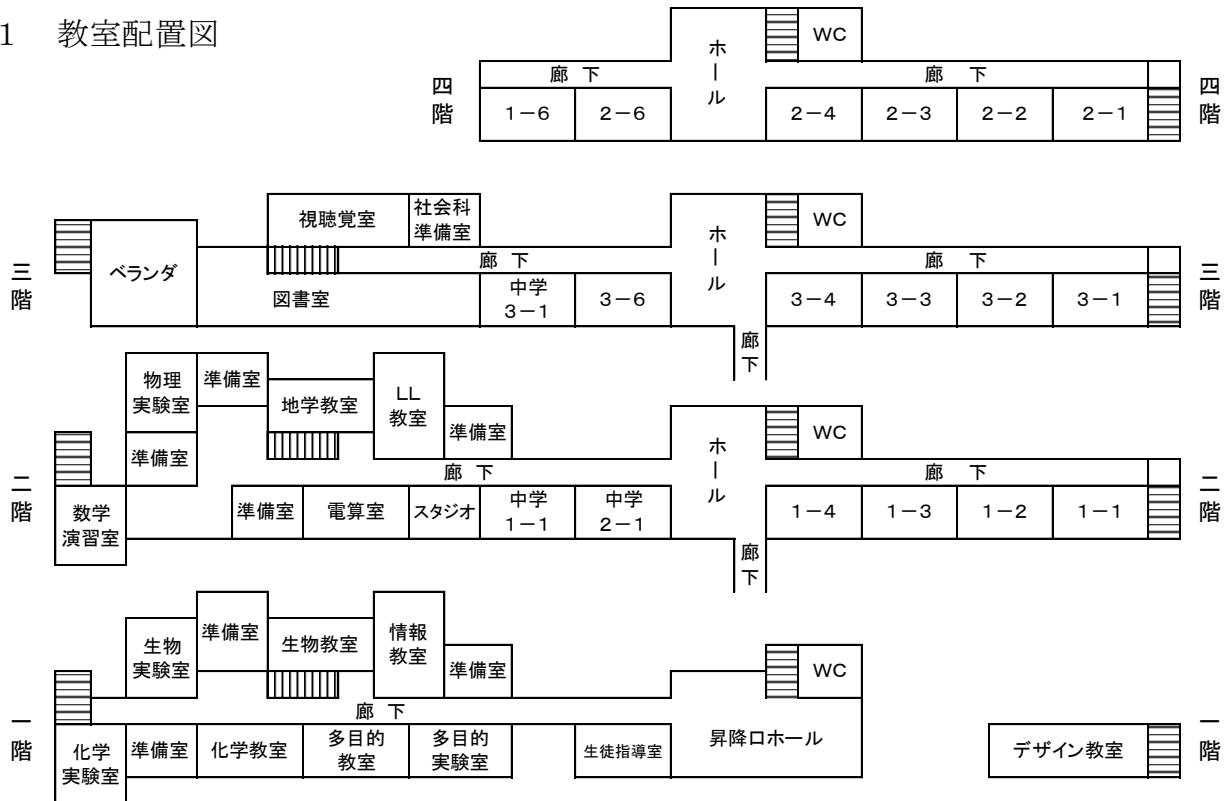
開 宇 四 邦 潮
邦 宙 海 を の
中 無 を 開 巡
学 限 越 く
(高 進 意 我
校 進 満 気 が
) ま 々 た 郷
 永 と に ぎ 土
 久 に る 土

開 真 心 つ 使
邦 理 身 ど 命
中 学 翼 た 友 友
(高 校) 広 道 熱 我
 光 あり と め る 学 舎

開 姿 古 四 首
邦 ぞ き 方 里
中 学 威 都 の 城
(高 校) 風 を 眺 東
 堂 々 々 々 々 々 の
 校 と 邊 隅 弁
) へ へ へ へ へ へ 弁
 聳 聳 聳 聳 聳 聳 ケ
 え た つ に ね 嶽
 わ た る

V 学校施設の概要

1 教室配置図



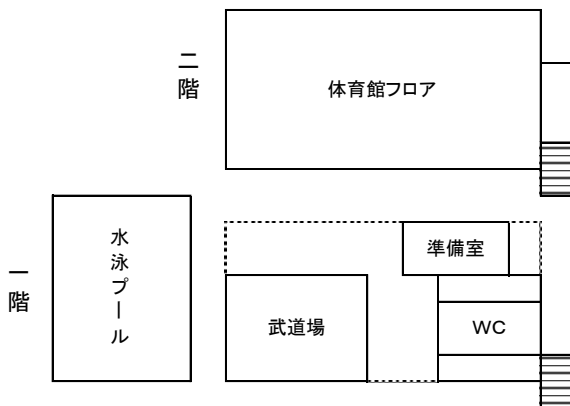
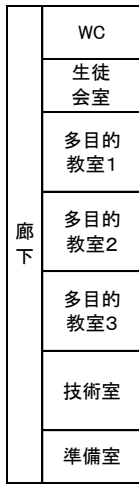
特別教室棟

普通教室棟

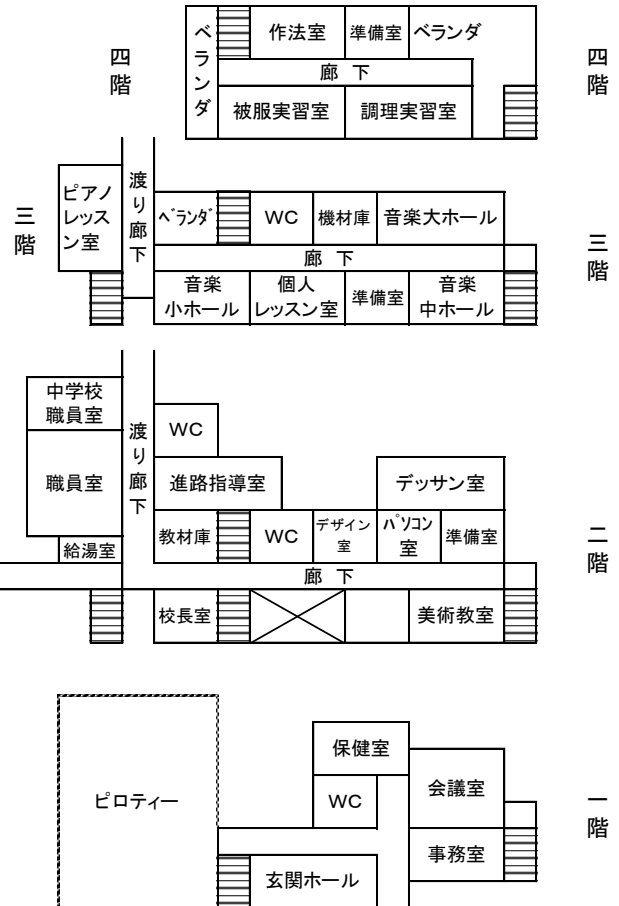
施設面積

		面積 (㎡)
建物面積	管理・芸術棟	2,830
	特別教室棟	2,553
	普通教室棟	2,747
	体育館・プール	1,694
	寄宿舍	2,554
	中学部棟	354
	計	12,732
敷地面積		31,823

中学部棟



体育館



管理・芸術棟

2 図書館

(1) 施設

閲覧室 301 m² 机 (12脚) ・ 椅子 (60脚) ・ キャレルデスク (12台)
 事務室 27.7 m²

(2) 蔵書 (平成30年4月23日現在)

分類	K	000	100	200	300	400
項目	郷土資料	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学
冊数	1,423	746	846	2,032	3,095	3,277
分類	500	600	700	800	900	合計冊数
項目	技術	産業	芸術	言語	文学	現在数
冊数	1,063	387	2,498	1,252	8,025	24,644

雑誌 (29種)			
番号	雑誌名	番号	雑誌名
1	CNN English Express	16	ナショナルジオグラフィック
2	音楽の友	17	モーストリークラシック
3	英語教育	18	月刊MOE
4	大学への数学	19	月刊Newsがわかる
5	Newton	20	切り抜き速報 (教育版)
6	日経サイエンス	21	切り抜き速報 (社会版)
7	デザインノート	22	切り抜き速報 (科学と環境版)
8	文藝春秋	23	NHKテキスト NHK100分de名著
9	科学	24	歴史人
10	日経ソフトウェア	25	図書館教育ニュース
11	子供の科学	26	高校への数学
12	オレンジページ	27	イラストノート
13	学校図書館	28	イングリッシュ・ジャーナル
14	ダ・ヴィンチ	29	Tarzan
15	Aera		

新聞 (5種)

- ① 沖縄タイムス ② 琉球新報 ③ 朝日新聞 (東京版) ④ 読売新聞 (東京版)
 ⑤ the japan times

(3) 主な年間行事

- 1学期 新入生図書館利用オリエンテーション
 「子ども読書週間」企画展 慰霊の日特設展
 2学期 国語科・芸術科美術コース・図書館主催 読書感想文・感想画コンクール
 読書旬刊特設展
 3学期 生徒作品集『雄飛』発刊・蔵書点検
 ※「図書館だより」毎月発行

(4) 平成30年度 読書活動推進年間計画

月	目 標	活 動 内 容	図 書 委 員 会
4月 5月	<ul style="list-style-type: none"> ・読書を通して、高校生活を見つめさせる。 ・個人年間読書目標を立てさせる。 ・読書活動推進のため各部・教科との協力体制を確立する。(集団読書活動の推進) ・身近なことへの問題意識を持たせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新入生図書館オリエンテーションの実施 ・図書館利用案内の配布 ・「子ども読書週間」に向けた取り組み ・図書購入計画の作成・発注 ・図書委員会の発足 ・図書館の環境整備 ・小論文関係の書籍紹介 	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会発足～役員決め ・図書館便りの発行 (1号～2号) ・個人年間読書目標の集計 ・購入希望図書のとりまとめ
6月 7月	<ul style="list-style-type: none"> ・読書を通して、改めて平和や命の大切さについて考えさせる。 ・夏季休業中の読書活動を考えさせる。(集団読書活動の推進) ・発達段階に応じた表現活動につなげさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・慰霊の日特設展の実施 ・小論文関係資料目録の作成 ・夏季休業中の読書活動を進めるための展示・広報 ・読書感想文・画コンクールに向けた取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館便りの発行(3号～4号) ・慰霊の日特設展の企画・運営 ・課題図書の紹介
9月 10月	<ul style="list-style-type: none"> ・沖縄方言関係の図書に親しませ方言について興味関心を持たせる。 ・人生を豊かにする読書を考えさせる。 ・生徒の読書実態調査を行い、読書指導につなげる ・校内読書旬間の充実を図る。(集団読書活動の推進) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「しまくとぅばの日」に向けた取り組み ・校内読書旬間に向けた取り組み ・生徒対象の読書実態調査 ・ブックガイド・ポスターの掲示 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館便りの発行(5号～6号) ・校内読書週間のテーマ募集・決定 ・校内読書週間の企画・運営 ・「本の帯」「本のしおり」運動
11月 12月	<ul style="list-style-type: none"> ・沖縄関係図書に親しませ、郷土について興味関心を持たせる。 ・古典文学に親しむ機会とさせる。 ・将来の進路について考えさせる読書活動を進める。(集団読書活動の推進) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「古典の日」に関連した取り組み ・職業観を高める取り組み ・生徒作品集『雄飛』発行に向けた取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館便り発行(7号～8号) ・職業を考えるための取り組みの企画・運営
1月 2月 3月	<ul style="list-style-type: none"> ・韻文を読み、親しみを持たせて感受性を育む。 ・洋書に親しませる。 ・1年間の読書活動を振り返らせる。(集団読書活動の推進) 	<ul style="list-style-type: none"> ・百人一首や漢詩の展示 ・洋書の紹介と展示 ・蔵書点検・備品点検 ・図書の返本督促 ・生徒作品集『雄飛』の発行 ・反省・総括 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館便りの発行 (9号～11号) ・韻文・洋書の展示企画・運営 ・1年間の委員会活動の反省・総括